令和３年度　最終報告書（写真集）

美しい「いすみ」を次世代に残す

「過現未による防災対策」



一般社団法人 洸楓座　「上総まちなか大学院」

主催　一般社団法人 洸楓座
共催　イベント・バンキング運営組織委員会
協賛　いたずら丸太工房・里山風景（木村廣志)、コスモ食品（株)、(株）光と風の研究所、
　　一般社団法人 Tsumugi
後援　いすみ市、千葉日報社、NPO 太東埼燈台クラブ

【開催した行事】

(1)	3 月 11 日(木)	過現未／キックオフ・イベント@太東埼灯台広場
(2)	4 月 11 日(日)	過／「過去から学ぶ・・究極の安全＆防災対策とは？！」
(3)	5 月 11 日(火)	現／「フェーズフリーとは？」
(4)	6 月 11 日(金)	未／「森の防波堤が守ってくれる」
(5)	7 月 11 日(日)	過／「展望室＆ＦＭ局付き発電風車」
(6)	8 月 11 日(水)	現／「フェーズフリーと防災食」
(7)	9 月 11 日(土)	未／「森の防波堤の可能性（FS)」
(8)	10 月 11 日(月)	過／「洋上風力発電と産業の 10 次化」
(9)	11 月 11 日(木)	現／「身近な暮らしにフェーズフリー」
(10)	12 月 11 日(土)	未／「森の防波堤をデザインする)」
(11)	4 月 30 日(土)	過現未／「過現未による防災対策」まとめ

【足跡／画像】

(1) 3 月 11 日(木)　　過現未／キックオフ・イベント@太東埼灯台広場



チラシ（おもて）



チラシ（うら）



司会（山川建夫）



主催者挨拶（佐藤建吉）



トリビエ序幕（制作／木村廣志）



和太鼓演奏（仲山茂）



市長挨拶（太田洋）



トリビエ披露



講話「命の大切さ」（小野寺直）



合掌



記念写真

(2) 4 月 11 日(日)　　過／「過去から学ぶ・・究極の安全＆防災対策とは？！」

年間テーマ 過現未＜過去・現在・未来＞による防災対策

上総まちなか大学院／開講　http://www.kofuza.jp/html/act.html

①3.11／《過現未》キックオフ・イベント@太東崎灯台広場

②4.11／過去から学ぶ・・究極の安全&防災対策とは？！

—脱原発運動と他の市民運動との違い—

講師：弁護士・河合弘之　http://lawyer-kawai.com/denuclear



◇日時　2021 年 4 月 11 日（日） 13:30～16:00
◇会場　大原文化センター大会議室（リアル定員 40 名）

【講座内容】河合弘之は、企業弁護士として活動しているが、社会問題として脱原発運動を行っている。本講座では、脱原発運動と他の市民運動との決定的な違いについて紐解く。映画『日本と原発』ほか、ドキュメンタリー映画を監督製作し市民に訴えている。原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」（原自連）の幹事長・事務局長のほか、脱原発弁護団全国連絡会共同代表としても活動している。

③ 5.11／《現在》「フェーズフリーとは？」
④ 6.11／《未来》「森の防波堤が守ってくれる」
⑤ 7.11／《過去》「展望台＆FM局付き発電風車」
⑥ 8.11／《現在》「フェーズフリーと防災レシピ」
⑦ 9.11／《未来》「森の防波堤の可能性（FS）」
⑧10.11／《過去》「洋上風力発電と産業の 10 次化」
⑨11.11／《現在》「身近な暮らしにフェーズフリー」
⑩12.11／《未来》「森の防波堤をデザインする」
⑪2022.1.11／《過現未》「過現未による防災対策」まとめ



大原文化センターへのアクセス：JR 外房線 大原駅下車、徒歩 6 分。
いすみ市大原 7838
TEL　0470-63-1222

【目的】　2021 年の今年は、東日本大震災の 10 年目にあたり、これを機会に、地震・津波、台風・集中豪雨、コロナ感染症・鳥ウイルスなど《複合災害》について考える必要があります。それには、過去の出来事について復習・反省し、現在できることを行動し、さらに未来に向かって準備し対策することが必要です。安全安心で、持続可能な いすみ市 をみなさんとともにつくりたいと思います。「フェーズフリー」や「森の防波堤」、そして「洋上風力発電」や「展望台付き風車」など、新しい話題があります。「上総まちなか大学院」は、それらを課題として、その解決への糸口を講師とともに考え、実践したいと思います。

【参加】リアルの会場の講義参加、あるいは zoom でのオンライン講義参加ができます。《ＨＰ＊で案内》
受講実績により証明書を発行します（受講証明書は有料となります）。
【主催】一般社団法人 洸楓座／上総まちなか大学院　【共催】イベント・バンキング運営組織委員会
【協賛】いたずら丸太工房・黒山風景（木村廣志）、コスモ食品（株）
【後援】いすみ市、千葉日報社、NPO 太東埼灯台クラブ
【問合せ】kofuza@gmail.com　／ 090-1268-5882　（佐藤建吉）／　＊http://www.kofuza.jp/html/act.html



河合弁護士監督＆製作映画



講演シーン（河合弘之）



会場シーン



会場シーン



市長挨拶（太田洋）



中村松洋市議の３１１体験談



太東埼にて



記念写真

(3) 5 月 11 日(火)　　現／「フェーズフリーとは？」

年間テーマ　過現未＜過去・現在・未来＞による防災対策

上総まちなか大学院／開講　http://www.kofuza.jp/html/act.html

①3.11／《過現未》キックオフ・イベント@太東崎灯台広場
②4.11／過去から学ぶ・・究極の安全&防災対策とは？！

参加費無料

③ 5.11／《現在》「フェーズフリーとは？」

講師：佐藤唯行　（一般社団法人フェーズフリー協会　代表理事）

◇日時　2021 年 5 月 11 日（火）　14:00～16:00
◇会場　九十九里ヴィラそとぼう（リアル定員 40 名）
いすみ市岬町和泉 4427-1　TEL 0470-87-7111

【講座内容】平常時と災害時の２つのフェーズ（局面）で、ともに活躍する商品やサービス、それらを生み出すアイディア。フェーズに境がないという意味で、「フェーズフリー」。防災の新しい概念です。段差をなしとするバリアフリーをイメージするとわかり易い。「フェーズフリー」の提案者である佐藤唯行氏に、現状とその拡がりについてかわかり易く解説して頂きます。

【関連講座】ＡＩによるスマート防災＆フェーズフリー

④ 6.11／《未来》「森の防波堤が守ってくれる」
⑤ 7.11／《過去》「展望台＆ＦＭ局付き発電風車」
⑥ 8.11／《現在》「フェーズフリーと防災レシピ」
⑦ 9.11／《未来》「森の防波堤の可能性（PS）」
⑧10.11／《過去》「洋上風力発電と産業の 10 次化」
⑨11.11／《現在》「身近な暮らしにフェーズフリー」
⑩12.11／《未来》「森の防波堤をデザインする」」
⑪1.11／《過現未》「過現未による防災対策」まとめ



【目的】　2021 年の今年は、東日本大震災の 10 年目にあたり、これを機会に、地震・津波、台風・集中豪雨、コロナ感染症・鳥ウイルスなど《複合災害》について考える必要があります。それには、過去の出来事について復習・反省し、現在できることを行動し、さらに未来に向かって準備し対策することが必要です。
「フェーズフリー」や「森の防波堤」、そして「洋上風力発電」や「展望台付き風車」など、新しい話題があります。「上総まちなか大学院」は、それらを課題として、その解決への糸口を講師とともに考え実践し、安全安心で、持続可能な いすみ市 をみなさんとともにつくりたいと思います。

【主催】一般社団法人 洸楓座／上総まちなか大学院
《フェーズフリーアクションパートナーメンバーAP9021004》
【共催】イベント・パンキング運営組織委員会
【協賛】いたずら丸太工房・里山風景（木村廣志）、
コスモ食品（株）、(株) 光と風の研究所
【後援】いすみ市、千葉日報社、NPO 太東埼燈台クラブ
【問合せ】kofuza@gmail.com　／ 090-1268-5882　（佐藤穂吉）
／ * http://www.kofuza.jp/html/act.html

PHASE FREE Action Partner



会場（九十九里ヴィラそとぼう）



講義シーン（佐藤唯行）



フェーズフリー商品



講義会場シーン



記念写真

(4) 6 月 11 日(金)　　未／「森の防波堤が守ってくれる」

年間テーマ　過現未＜過去・現在・未来＞による防災対策

上総まちなか大学院／開講　http://www.kofuza.jp/html/act.html

①3.11／《過現未》キックオフ・イベント@太東埼灯台広場
②4.11／過去から学ぶ・・究極の安全&防災対策とは？！
③5.11／《現在》「フェーズフリーとは？」

参加費無料

④6.11／《未来》「森の防波堤が守ってくれる

講師：目黒伸一　（国際生態学センター　主幹研究員・工博）

◇日時　2021 年 6 月 11 日（金）　14:00～16:00
◇会場　大原文化センター（リアル定員 40 名）
いすみ市大原 7838　TEL 0470-63-1222
https://map.goo.ne.jp/place/EMMFF8HA/map/



【講座内容】東日本大震災では、津波により家屋が流失、倒壊、浸水等の被害を受けたが、防風・防波・防飛砂としての海岸の樹林は、減災効果があったと確認されている。ただし、松林よりは地元の植生に由来した広葉樹林の方が、林自体が津波への耐性（倒壊・折損・流出など）があり、家屋の被害対策に有効であった。植物生態学者の宮脇昭（横浜国立大学名誉教授＆国際生態センター名誉館長）氏らは、「森の防潮堤」を進めている。宮脇氏と活動をされている目黒伸一氏に、九十九里海岸をはじめとする地元外房海岸における「森の防波堤（防潮堤）」の可能性について、解説して頂き検討したい。

⑤7.11／《過去》「展望台＆FM局付き発電風車」
⑥8.11／《現在》「フェーズフリーと防災レシピ」
⑦9.11／《未来》「森の防波堤の可能性（FS）」
⑧10.11／《過去》「洋上風力発電と産業の 10 次化」
⑨11.11／《現在》「身近な暮らしにフェーズフリー」
⑩12.11／《未来》「森の防波堤をデザインする）」
⑪1.11／《過現未》「過現未による防災対策」まとめ

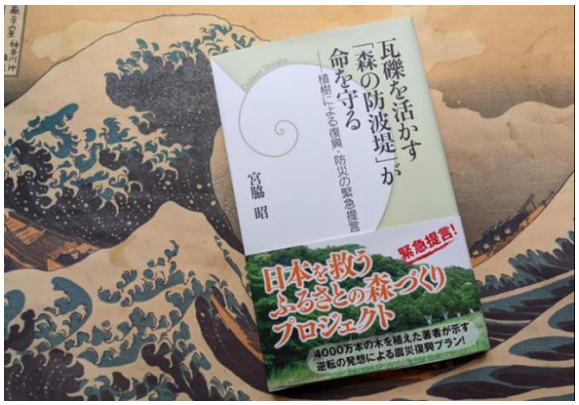
大原文化センターへのアクセス：JR 外房線　大原駅下車、徒歩 6 分。
いすみ市大原 7838
TEL　0470-63-1222



【目的】2021 年の今年は、東日本大震災の 10 年目にあたり、これを機会に、地震・津波、台風・集中豪雨、コロナ感染症・鳥ウイルスなど《複合災害》について考える必要があります。それには、過去の出来事について復習・反省し、現在できることを行動し、さらに未来に向かって準備し対策することが必要です。
「フェーズフリー」や「森の防波堤」、そして「洋上風力発電」や「展望台付き風車」など、新しい話題があります。「上総まちなか大学院」は、それらを課題として、その解決への糸口を講師とともに考え実践し、安全安心で、持続可能な いすみ市 をみなさんとともにつくりたいと思います。

【主催】一般社団法人 洸楓座／上総まちなか大学院
《フェーズフリーアクションパートナーメンバーAP9021004》
【共催】イベント・バンキング運営組織委員会
【協賛】いたずら丸太工房・里山風景（木村廣志）、コスモ食品（株）、（株）光と風の研究所
【後援】いすみ市、千葉日報社、NPO 太東埼灯台クラブ
【問合せ】kofuza@gmail.com　／ 090-1268-5882　（佐藤建吉）
／　http://www.kofuza.jp/html/act.html

PHASE FREE Action Partner















講義シーン（目黒伸一）



記念写真

(5) 7月11日(日)　　過／「展望室＆ＦＭ局付き発電風車」



年間テーマ　過現未＜過去・現在・未来＞による防災対策

上総まちなか大学院／開講　http://www.kofuza.jp/html/act.html

①3.11／《過現未》キックオフ・イベント@太東埼灯台広場
②4.11／過去から学ぶ・・究極の安全&防災対策とは？！
③5.11／《現在》「フェーズフリーとは？」
④6.11／《未来》「森の防波堤が守ってくれる」

参加費無料

⑤7.11／《過去》「展望室＆ＦＭ局付き発電風車」

講師：佐藤建吉　（一社 洸楓座 代表理事・工博）

◇日時　2021年7月11日（日）　13:30～15:30
◇会場　大原文化センター（リアル定員40名）
いすみ市大原7838　TEL 0470-63-1222
https://map.goo.ne.jp/place/E8RFF88HA/map/



【講座内容】洋上風力発電がわが国でも施策とされ、いすみ市の神合も有望な候補地として挙げられている。いすみ市沖はイセエビなどの漁場であるが、地元では漁獲量の減少や漁業従事者の高齢化などの課題を抱えている。洋上風力発電は、これまでは未知の対象であったがエネルギーと水産漁業、さらには観光など、新しい地域資源の開発と利用が望める。この講座では、洋上風力発電の関連として、講演者が従来から検討し提案してきた《展望室＆ＦＭ局付き発電風車》という先進的な風力発電装置についての話題を提供し、今後の展開への準備としたい。

⑥8.11／《現在》「フェーズフリーと防災レシピ」
⑦9.11／《未来》「森の防波堤の可能性（FS）」
⑧10.11／《過去》「洋上風力発電と産業の10次化」
⑨11.11／《現在》「身近な暮らしにフェーズフリー」
⑩12.11／《未来》「森の防波堤をデザインする」」
⑪1.11／《過現未》「過現未による防災対策」まとめ

大原文化センターへのアクセス：JR外房線　大原駅下車、徒歩6分。
いすみ市大原7838
TEL　0470-63-1222



【目的】2021年の今年は、東日本大震災の10年目にあたり、これを機会に、地震・津波、台風・集中豪雨、コロナ感染症・鳥ウイルスなど《複合災害》について考える必要があります。それには、過去の出来事について復習・反省し、現在できることを行動し、さらに未来に向かって準備し対策することが必要です。
「フェーズフリー」や「森の防波堤」、そして「洋上風力発電」や「展望台付き風車」など、新しい話題があります。「上総まちなか大学院」は、それらを課題として、その解決への糸口を講師とともに考え実践し、安全安心で、持続可能な いすみ市 をみなさんとともにつくりたいと思います。

【主催】一般社団法人 洸楓座／上総まちなか大学院
《フェーズフリーアクションパートナーメンバーAP9021004》
【共催】イベント・バンキング運営組織委員会
【協賛】いたずら丸太工房・里山風景（木村廣志）、
コスモ食品（株）、（株）光と風の研究所
【後援】いすみ市、千葉日報社、NPO 太東埼燈台クラブ
【問合せ】kofuza@gmail.com ／ 090-1268-5882 （佐藤建吉）
／ http://www.kofuza.jp/html/act.html





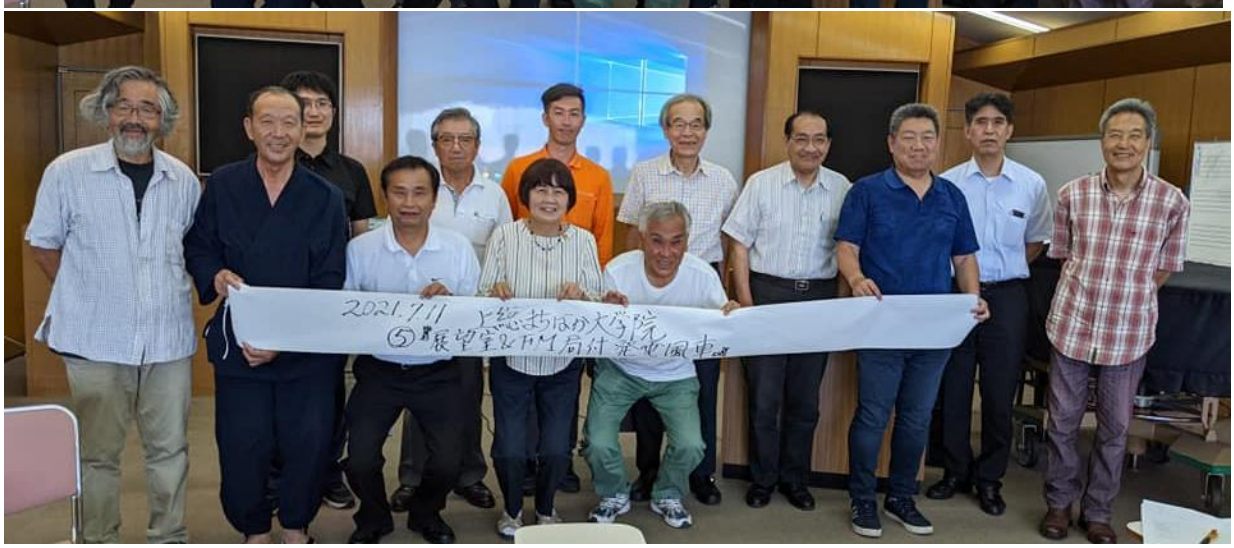


特別な眺望観光









記念写真

(6) 8 月 11 日(水)　　現／「フェーズフリーと防災食」

年間テーマ　過現未＜過去・現在・未来＞による防災対策

上総まちなか大学院／開講　http://www.kofuza.jp/html/act.html

①3.11／《過現未》キックオフ・イベント@太東埼灯台広場
②4.11／過去から学ぶ・・究極の安全&防災対策とは？！
③5.11／《現在》「フェーズフリーとは？」
④6.11／《未来》「森の防波堤が守ってくれる
⑤7.11／《過去》「展望室&FM局付き発電風車」

参加費無料

⑥8.11／《現在》「フェーズフリーと防災食」

講師：飯田和子（［一社］日本災害食学会災害食専門員、株式会社 WA・ON 代表取締役）

◇日時　2021年8月11日（水）　13:30~15:30
◇会場　いすみ市役所大原庁舎3階301 会議室（リアル定員20名）
千葉県いすみ市大原7400-1　TEL 0470-62-1111
https://www.city.isumi.lg.jp/



【講座内容】　災害などの非常時の「食」には、備蓄してあるインスタント食品や災害食のイメージがあると思いますが、限られた調理器具でいつもの食事に近いものが食べられたらホッとできるはず。日常時と非常時のいずれにも必要とされる「フェーズフリーの食」を提案させていただきます。
本講座はコロナ禍での実施により、実習や試食はございませんがデモンストレーション等を用いて簡単、省エネなレシピを共有していただきます。
『いつもの食事をもしもの食事に』食でフェーズフリーを実践しましょう。

⑦9.11／《未来》「森の防波堤の可能性（FS）」
⑧10.11／《過去》「洋上風力発電と産業の10次化」
⑨11.11／《現在》「身近な暮らしにフェーズフリー」
⑩12.11／《未来》「森の防波堤をデザインする）」
⑪1.11／《過現未》「過現未による防災対策」まとめ



【目的】2021 年の今年は、東日本大震災の 10 年目にあたり、これを機会に、地震・津波、台風・集中豪雨、コロナ感染症・鳥ウイルスなど《複合災害》について考える必要があります。それには、過去の出来事について復習・反省し、現在できることを行動し、さらに未来に向かって準備し対策することが必要です。
「フェーズフリー」や「森の防波堤」、そして「洋上風力発電」や「展望台付き風車」など、新しい話題があります。「上総まちなか大学院」は、それらを課題として、その解決への糸口を講師とともに考え実践し、安全安心で、持続可能な いすみ市 をみなさんとともにつくりたいと思います。

いすみ市役所大原庁舎へのアクセス：
JR 外房線　大原駅下車、徒歩 10 分。
いすみ市大原 7400-1
TEL　0470-62-1111

【主催】一般社団法人 洗楓座／上総まちなか大学院《フェーズフリーアクションパートナーメンバーAP9021004》
【共催】イベント・バンキング運営組織委員会
【協賛】いたずら丸太工房・里山風景（木村廣志）、コスモ食品（株）、
（株）光と風の研究所、一般社団法人 Tsumugi
【後援】いすみ市、千葉日報社、NPO 太東埼燈台クラブ
【問合せ】kofuza@gmail.com　／ 090-1268-5882（佐藤雄吉）
／ http://www.kofuza.jp/html/act.html

PHASE FREE Action Partner



防災食（フェーズフリー）



市長挨拶（太田洋）





講義シーン（飯田和子）









みんなのサンデー防災 Radio （2022.05.01）

(7) 9 月 11 日(土)　　未／「森の防波堤の可能性（FS)」

年間テーマ　過現未＜過去・現在・未来＞による防災対策

上総まちなか大学院／開講　http://www.kofuza.jp/html/act.html　参加費無料

①　3.11／《過現未》キックオフ・イベント@太東崎灯台広場　②4.11／過去から学ぶ・・究極の安全&防災対策とは？！　③5.11／《現在》「フェーズフリーとは？」　④6.11／《未来》「森の防波堤が守ってくれる
⑤7.11／《過去》「展望室&FM局付き発電風車」　⑥8.11／《現在》「フェーズフリーと防災食」

⑦9.11／《未来》「森の防波堤の可能性(FS)」&討論

講師：目黒伸一（国際生態学センター 主幹研究員・工博）

《コロナ禍のなかオンライン(リモート)で参加かもしれません・・？！》

◇日時　2021年9月11日（土）13:30~16:00
◇会場　いすみ市役所大原文化センター大会議室（リアル定員40名）
いすみ市大原7838　TEL 0470-63-1222



【講座背景】千葉県では、平成15年8月に「千葉東沿岸海岸保全基本計画」を策定し、海岸の防護・環境・利用の面から施設整備を進めている。しかし平成23年3月11日に発生した東日本大震災による津波により、千葉東沿岸でも被害が発生したことから、津波対策に特にポイントを置き、平成25年11月に本計画は変更された。その後、平成26年6月に海岸法の一部が改正され、さらに平成27年2月に海岸保全基本方針が変更されたので、本計画は平成28年9月に再度、計画変更されている。しかし、その細目は、未決定の段階にある。
【講座内容】今回のテーマには、再度、「森の防波堤（森の防潮堤）」を取り上げる。宮城県や福島県、また静岡県等では、津波対策として、森の防潮堤の建設が、市民とともに植樹し「私たちの防潮堤としてデザインする」ことが行われている。「混植・密植型植樹」の「宮脇方式®」が、採用されている。その具体的な事例について、解説して頂く。〈※ 宮脇昭先生は、本年7月16日に急逝されました。〉

⑧10.11／《過去》「洋上風力発電と産業の10次化」
⑨11.11／《現在》「身近な暮らしにフェーズフリー」
⑩12.11／《未来》「森の防波堤をデザインする」
⑪1.11／《過現未》「過現未による防災対策」まとめ

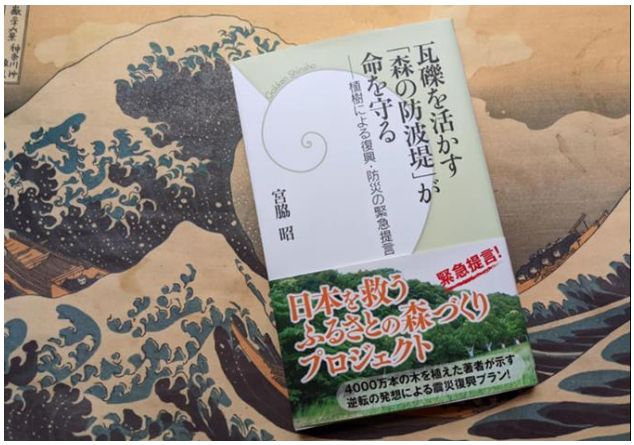


大原文化センターへのアクセス：JR外房線　大原駅下車、徒歩6分。　アドレス：いすみ市大原7838　TEL　0470-63-1222

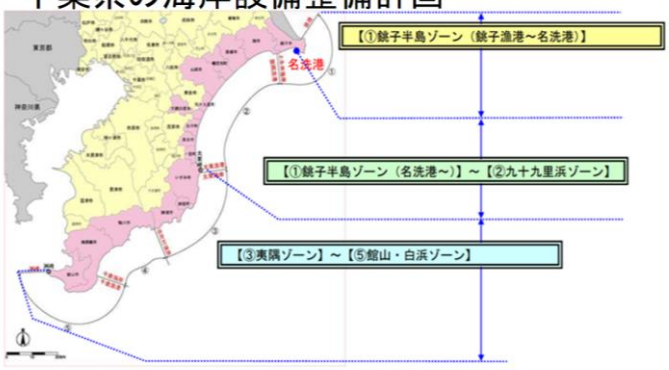
【目的】2021年の今年は、東日本大震災の10年目にあたり、これを機会に、地震・津波、台風・集中豪雨、コロナ感染症・鳥ウイルスなど《複合災害》について考える必要があります。それには、過去の出来事について復習・反省し、現在できることを行動し、さらに未来に向かって準備し対策することが必要です。「フェーズフリー」や「森の防波堤」、そして「洋上風力発電」や「展望台付き風車」など、新しい話題があります。「上総まちなか大学院」は、それらを課題として、その解決への糸口を講師とともに考え実践し、安全安心で、持続可能な いすみ市 をみなさんとともにつくりたいと思います。

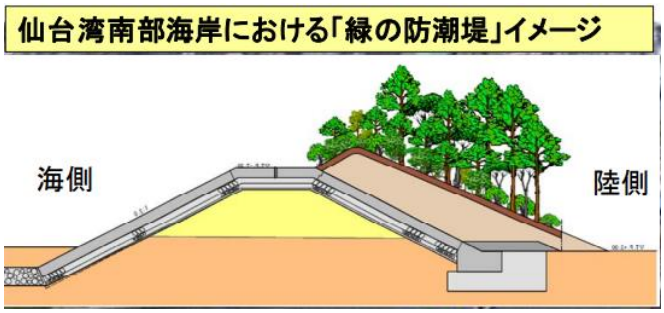
【主催】一般社団法人 洗楓座／上総まちなか大学院《フェーズフリーアクションパートナーメンバー AP9021004》
【共催】イベント・バンキング運営組織委員会
【協賛】いたずら丸太工房・里山風景（木村廣志）、コスモ食品（株）、
（株）光と風の研究所、一般社団法人Tsumugi
【後援】いすみ市、千葉日報社、NPO 太東崎遊台クラブ
【問合せ】kofuza@gmail.com　／ 090-1268-5882　（佐藤建吉）
／　http://www.kofuza.jp/html/act.html

PHASE FREE Action Partner



千葉県の海岸設備整備計画





福島県の例／「森の防潮堤」づくり

鹿島区南右田字二ツ沼地内／植樹日：2013年10月6日(日)／植樹本数：20,000本／参加人数：3,000人／植樹面積：5,000㎡／樹種：16種





https://morinoproject.com/activities-minamisoumashi



静岡県の例／ふじのくに森の防潮堤づくり



静岡県の例／ふじのくに森の防潮堤づくり

・青森県から千葉県における今次津波の高さや海岸堤防等の被災状況等を調査し、被災形態の特徴等を整理。調査結果を踏まえ、被災メカニズムを想定し、構造上の工夫を抽出。
→裏法尻部、裏法勾配（裏法尻部への保護工の設置等）
→天端保護工、裏法被覆工、表法被覆工（部材厚の確保等）

○裏法尻部の洗掘
【被災形態】

○天端保護工、裏法被覆工の流出
【被災形態】



海岸堤防の粘り強い構造の基本的考え方



オンランでの講座シーン





記念写真

(8) 10 月 11 日(月)　　過／「洋上風力発電と産業の 10 次化」

参加費無料

年間テーマ　過現未＜過去・現在・未来＞による防災対策

上総まちなか大学院／開講　http://www.kofuza.jp/html/act.html

①3.11／《過現未》キックオフ・イベント＠太東崎灯台広場　②4.11／過去から学ぶ・・究極の安全&防災対策とは？！　③5.11／《現在》「フェーズフリーとは？」　④6.11／《未来》「森の防波堤が守ってくれる　⑤7.11／《過去》「展望塔&FM局付き発電風車」　⑥8.11／《現在》「フェーズフリーと防災食」⑦9.11／《未来》「森の防波堤の可能性（PS）」　⑧10.11／《過去》「洋上風力発電と産業の10次化」　⑨11.11／《現在》身近な暮らしにフェーズフリー　⑩12.11／《未来》「森の防波堤をデザインする)」　⑪1.11／《過現未》「過現未による防災対策」まとめ

⑧10. 11／《過去》「洋上風力発電と産業の 10 次化」



講師：上田悦紀（一社・日本風力発電協会／国際部長）

◇日時　2021 年 10 月 11 日（月）　13:30～16:00
◇会場　いすみ市商工会大原本所 1 階研修室（リアル定員 20 名）
いすみ市大原 7400－8　TEL 0470-62-1191
https://www.mapion.co.jp/m2/35.25338584,140.38295

【講座内容】いすみ市の沿岸（沖合）でも洋上風力発電の開発が進められる機運にあります。洋上風力は世界の潮流であり、日本は取り残されている状況にあります。再生可能エネルギー利用の時代を迎え、潜在力ある洋上風力は最も強大なエネルギー源として進化しようとしています。かつては造船大国であった日本は、近年はその技術を活かしていませんでしたが、いまこそ海洋技術を再興し世界に貢献できるチャンスとなります。同時に、漁業や観光産業など地域経済の振興にも寄与できる洋上風力発電について、国際的事情に詳しい上田氏を講師に迎え、現状と未来について講義して頂きます。

【目的】2021 年の今年は、東日本大震災の 10 年目にあたり、これを機会に、地震・津波、台風・集中豪雨、コロナ感染症・鳥ウイルスなど《複合災害》について考える必要があります。それには、過去の出来事について復習・反省し、現在できることを行動し、さらに未来に向かって準備し対策することが必要です。
「フェーズフリー」や「森の防波堤」、そして「洋上風力発電」や「展望台付き風車」など、新しい話題があります。「上総まちなか大学院」は、それらを課題として、その解決への糸口を講師とともに考え実践し、安全安心で、持続可能な いすみ市 をみなさんとともにつくりたいと思います。



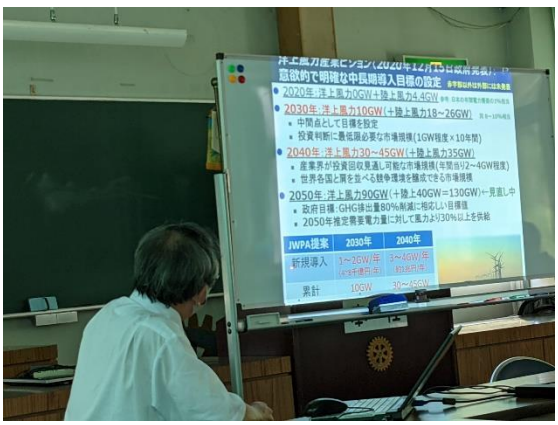
いすみ市商工会へのアクセス：JR 外房線　大原駅下車、徒歩 7 分。　アドレス：いすみ市大原 7400-8　TEL　0470-62-1191

【主催】一般社団法人 洸楓座　／上総まちなか大学院
《フェーズフリーアクションパートナーメンバー　AP9021004》
【共催】イベント・バンキング運営組織委員会
【協賛】いたずら丸太工房・里山風景（木村賞志）、コスモ食品（株）、（株）光と風の研究所、一般社団法人 Tsumugi
【後援】いすみ市、千葉日報社、NPO 太東崎昼台クラブ
【問合せ】kofuza@gmail.com　／　090-1268-5882　（佐藤雄吉）／ http://www.kofuza.jp/html/act.html

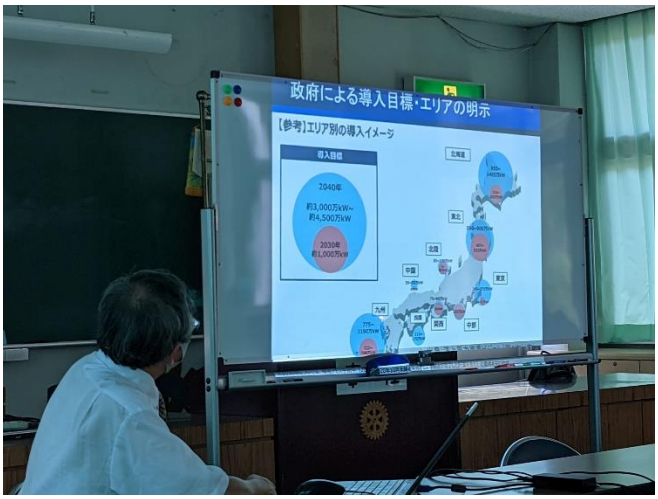
PHASE FREE Action Partner



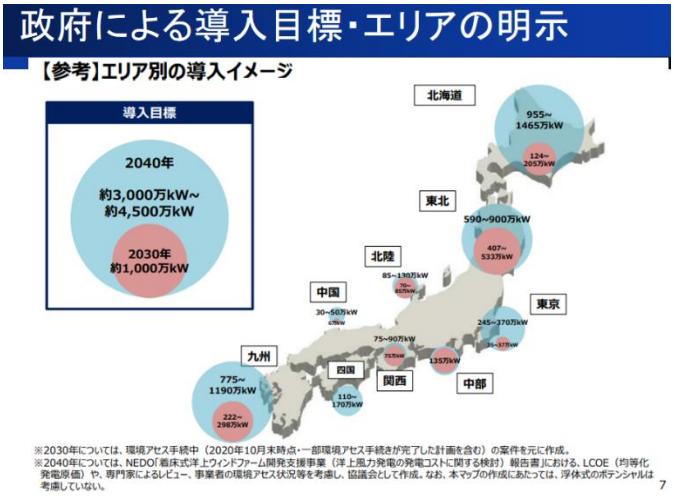
単機洋上風力のシーン



講座シーン（上田悦紀）



同上



出典：洋上風力産業ビジョン（第1次）（案）



記念写真



同上

(9) 11 月 11 日(木)　　現／「身近な暮らしにフェーズフリー」

年間テーマ　過現未＜過去・現在・未来＞による防災対策

上総まちなか大学院／開講　http://www.kofuza.jp/html/act.html　参加費無料

①3.11／《過現未》キックオフ・イベント@太東埼灯台広場　②4.11／過去から学ぶ・・究極の安全&防災対策とは？！　③5.11／《現在》「フェーズフリーとは？」　④6.11／《未来》「森の防波堤が守ってくれる」
⑤7.11／《過去》「展望室&FM局付き発電風車」　⑥8.11／《現在》「フェーズフリーと防災食」　⑦9.11／《未来》「森の防波堤の可能性(FS)」&討論　⑧10.11／《過去》「洋上風力発電と産業の10次化」

⑨11.11／《現在》「身近な暮らしにフェーズフリー」

講師：イトーノリヒサ（イベント・バンキング(運)、CEO）

◇日時　2021年11月11日(木)　13:30~16:00
◇会場　いすみ市役所大原文化センター視聴覚室（リアル定員20名）
いすみ市大原7838　TEL 0470-63-1222
https://map.goo.ne.jp/place/EMFFF8HA/map/



【講座背景】「フェーズフリー」(phase-free)は、日常時の暮らしにおいて、非常時での局面（phase）での防災を特に気にすることなく（free）、災害にも備えること、ということができます。それは、ある面で“保険”とも解釈できます。しかし、それはこれまでなかった保険です。何故なら、災害や被害を受けることがなくとも補償（カバー）してくれるからです。
類似の言葉に「バリアフリー」がありますが、これは多くの人が知っており、今日では常識となりました。バリアフリーを「段差なし」というと、それだけになりますが、「バリアフリー」と呼ぶと、対象や適用が拡がります。「フェーズフリー」も、日常時と非常時という局面の違いをなくして、いつでも役立つグッズやサービスと呼ぶことができます。例えば、非常時まで死蔵し備蓄するのではなく、日常時に購入在庫されるスーパーの商品棚を倉庫とするようなことです。さらに、幅広い「フェーズフリー」の適用を、身近な暮らしの中で発見&定着するために、数万のイベント入場者の自由行動を安全に快適に采配してきた、イトーノリヒサ氏とともに考えます。

⑩12.11／《未来》「森の防波堤をデザインする」
⑪11.11／《過現未》「過現未による防災対策」まとめ



大原文化センターへのアクセス：JR外房線　大原駅下車、徒歩6分。　アドレス：いすみ市大原7838　TEL　0470-63-1222

【目的】2021年の今年は、東日本大震災の10年目にあたり、これを機会に、地震・津波、台風・集中豪雨、コロナ感染症・鳥ウイルスなど《複合災害》について考える必要があります。それには、過去の出来事について復習・反省し、現在できることを行動し、さらに未来に向かって準備し対策することが必要です。「フェーズフリー」や「森の防波堤」、そして「洋上風力発電」や「展望台付き風車」など、新しい話題があります。「上総まちなか大学院」は、それらを課題として、その解決への糸口を講師とともに考え実践し、安全安心で、持続可能な いすみ市をみなさんとともにつくりたいと思います。

【主催】一般社団法人 洸風座／上総まちなか大学院《フェーズフリーアクションパートナーメンバーAP9021004》
【共催】イベント・バンキング運営組織委員会
【協賛】いたずら丸太工房・黒山風景（木村廣志）、コスモ食品（株）、（株）光と風の研究所、一般社団法人 Tsumugi
【後援】いすみ市、千葉日報社、NPO 太東埼灯台クラブ
【問合せ】kofuza@gmail.com ／ 090-1268-5882 （佐藤穂吉）
／ http://www.kofuza.jp/html/act.html

PHASE FREE Action Partner

情報収集　FASTALERT（ファストアラート）

対策本部　⇒　判断

情報収集…正しい情報／数多く

行政がただ主導でやるのではなく、
・予算削減
・市民協働　「自共公」

地域の人が／観光の人も／たまたまの人も

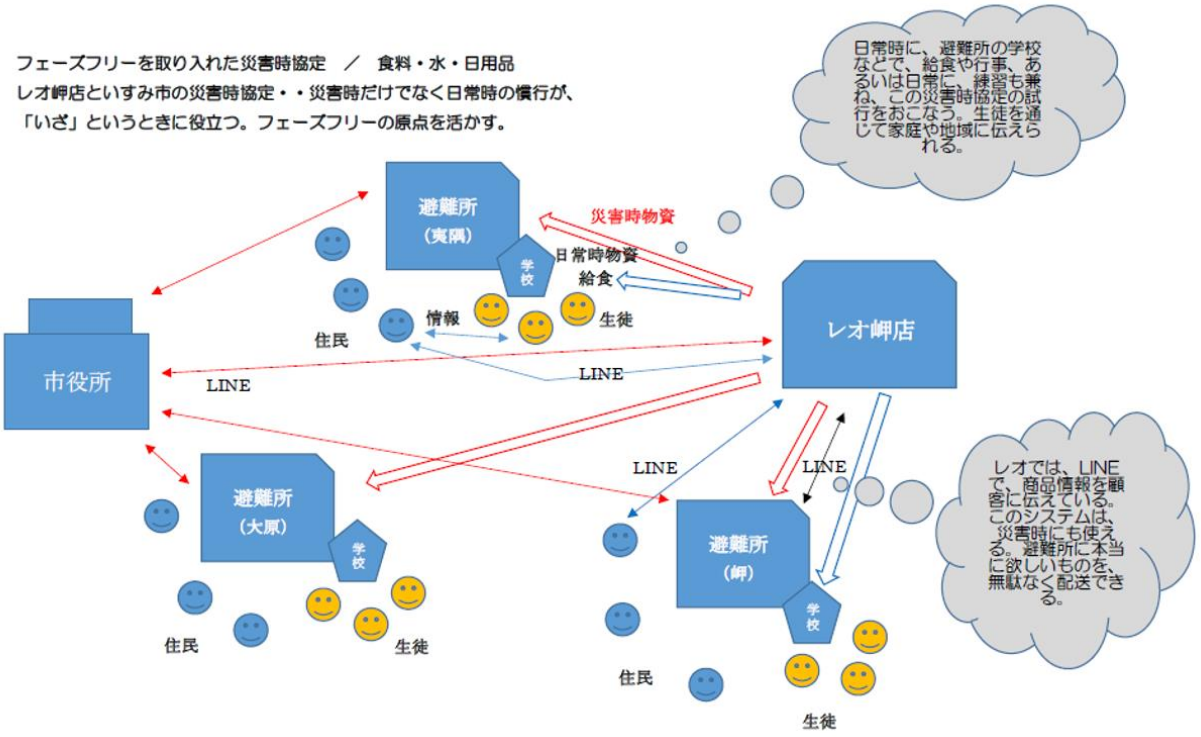
人工知能　発信している画像データを利用する

AIでそれが正しいか／フェイクか／物見遊山のものかを判断する

ファストアラート（FastAlert）の適用

消防	地元農家	食料		福祉物資		福祉避難場所
水道	地元農家	食料		避難場所		福祉避難場所
役所		飲料		避難場所		福祉避難場所
廃棄物		飲料		避難場所		福祉避難場所
廃棄物	伊藤園	飲料		避難場所		福祉避難場所
火葬	大塚食品	食品		避難場所		福祉避難場所
行政県	新潟県	行政		避難場所		福祉避難場所
行政地元	群馬県	行政		避難場所		福祉避難場所
土木	山形県	行政		避難場所		ガス
標識		防止無線		避難場所	カインズ	物資
建設	郵便	郵便			コンビニ	物資
調査	Yahoo	通信				物資
医療	NTT	電話			畳	畳
医療						防災活動
医療						被災情報
医薬品						看板

いすみ市の防災協定の対象分類



フェーズフリーを取り入れた災害時協定《いすみモデル》




講座シーン（イトーノ リヒサ）





講座シーン（ファストアラート）



記念写真

(10) 12 月 11 日(土)　　未／「森の防波堤をデザインする)」

年間テーマ　**過現未<過去・現在・未来>による防災対策**

上総まちなか大学院／開講　http://www.kofuza.jp/html/act.html　参加費無料

① 3.11／《過現未》キックオフ・イベント@太東埼灯台広場　②4.11／過去から学ぶ・・究極の安全&防災対策とは？！　③5.11／《現在》「フェーズフリーとは？」　④6.11／《未来》「森の防波堤が守ってくれる　⑤7.11／《過去》「展望室&FM局付き発電風車」　⑥8.11／《現在》「フェーズフリーと防災食」　⑦9.11／《未来》「森の防波堤の可能性(FS)」&討論　⑧10.11／《過去》「洋上風力発電と産業の10次化　⑨11.11／《現在》「身近な暮らしにフェーズフリー」

⑩12.11／《未来》「森の防波堤をデザインする」

講師：佐藤建吉（一般社団法人 洸楓座、代表理事）



◇日時　2021年12月11日(土)　13:30～16:00
◇会場　いすみ市役所大原文化センター視聴覚室（リアル定員20名）
いすみ市大原 7838　TEL 0470-63-1222
https://map.goo.ne.jp/place/EMFRF8HA/map/

【講座背景】　故・宮脇昭氏が提唱し進めてきた地元の樹木（ふるさとの木々）による森づくりの概念に基づいて、宮城県や福島県、そして静岡県では、高潮や津波対策に「森の防波堤／防潮堤」が造営されています。地域住民の生命と財産を守る防潮堤づくりの活動でもあります。
「いすみ市」は、海里、川里、山里と自然の中での暮らしがありますが、自然が猛威を示すことがあります。地震や津波は長い周期で起こるのですが、その日のために命を守ってくれる樹木を育てて、高潮や津波に対策するのが「森の防波堤／防潮堤」です。海からやってくる波の威力を軽減させ、逃げる余裕の時間をつくり、人命や財産を守ってくれる。引き潮（引き波）の時には、木々が障害物として流出を抑えてくれる。「粘り強い海岸堤防」という呼び方もあります。一方で、災害のない日常は、樹木が自然の景観を添えてくれます。樹木の中を散歩しサイクリングし、観光客を迎える。日常時も、非常時も私たちの暮らしを守ってくれる「森の防波堤」を、自分たちで「いすみ市」にデザインしましょう。

⑪11.11／《過現未》「過現未による防災対策」まとめ

【目的】2021年の今年は、東日本大震災の10年目にあたり、これを機会に、地震・津波、台風・集中豪雨、コロナ感染症・鳥ウイルスなど《複合災害》について考える必要があります。それには、過去の出来事について復習・反省し、現在できることを行動し、さらに未来に向かって準備し対策することが必要です。「フェーズフリー」や「森の防波堤」、そして「洋上風力発電」や「展望台付き風車」など、新しい話題があります。「上総まちなか大学院」は、それらを課題として、その解決への糸口を講師とともに考え実践し、安全安心で、持続可能な「いすみ市」をみなさんとともにつくりたいと思います。



大原文化センターへのアクセス：JR 外房線　大原駅下車、徒歩 6 分。　アドレス：いすみ市大原 7838

【主催】一般社団法人 洸楓座／上総まちなか大学院
《フェーズフリーアクションパートナーメンバーAP9021004》
【共催】イベント・バンキング運営組織委員会
【協賛】いたすら丸太工房・里山風景（木村廣志）、コスモ食品（株）、（株）光と風の研究所、一般社団法人 Tsumugi
【後援】いすみ市、千葉日報社、NPO 太東埼燈台クラブ
【問合せ】kofuza@gmail.com　／090-1268-5882（佐藤建吉）
／　http://www.kofuza.jp/html/act.html

PHASE FREE Action Partner

浦安市役所みどり公園課



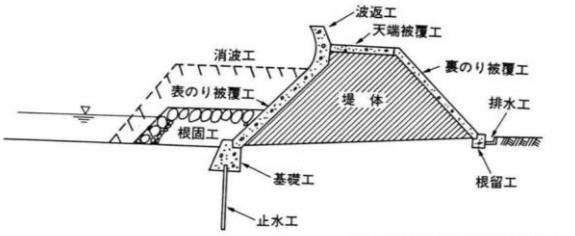
記念石碑

日の出海岸緑道



＜海岸堤防・海岸護岸＞
高潮や津波あるいは高波等によって海水や波が陸地に侵入し、あるいは陸地を侵食したりするのを防ぐ目的で、海岸線付近に設けられる構造物。

＜堤　防＞
堤防は、現地盤を盛土またはコンクリート打設などによって増高し、高潮、津波による海水の侵入を防止し、波浪による越波を減少させると共に、陸域が侵食されるのを防止する施設をいう。概念的に図示すると下図のとおりである。

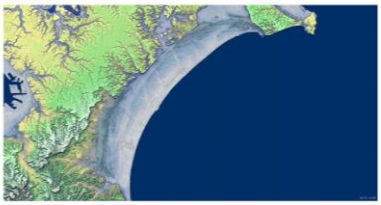


(出典：海岸保全施設築造基準解説 P.136)

図-3.2.1　堤　防

観光と防災が一体となった「いすみの防波堤／防潮堤」・・フェーズフリーの和泉日在

- 防災
- 砂浜の養浜(ようひん)
- サイクリングロード
- グリーン確保
- グリーンツーリズム
- 漁業
- 観光
- 愛着づくり
- 市民参加



グリーン・ツーリズムの定義と推進の基本方向

○　欧州の農村に滞在しバカンスを過ごすという余暇の過ごし方が普及していた状況を踏まえ、平成４年にグリーン・ツーリズム研究会の中間報告で、グリーン・ツーリズムを「農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動」と定義し、その推進を提唱。

○グリーン・ツーリズムの推進により、
①国民の新たな余暇ニーズへの対応
②農村地域の自然、文化を保全した農村活性化
③都市住民の農林漁業・農村への理解の増進
④外国人旅行者が日本固有の自然及び文化等にふれる機会の提供
という効果を期待。

○　同報告ではグリーン・ツーリズムの推進施策の方向として、
①美しい村づくりの推進
②受入体制の整備
③都市・農村相互情報システムの構築
④推進・支援体制の整備
を提示。

グリーン・ツーリズム研究会中間報告＜抜粋＞
（平成4年7月）

2. グリーン・ツーリズムの提唱

(1)グリーン・ツーリズムの概念

農村と都市が相互に補完し合い、共生していくことにより国土の均衡ある発展を目指すことを基本とし、農村地域における開かれた美しいむらづくりに向けた意欲と、都市住民に芽生えた新たな形での余暇利用や農村空間への思いとに橋を架けるものとして、グリーン・ツーリズムを提唱する。

グリーン・ツーリズムとは、「緑豊かな農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ、滞在型の余暇活動」であり、それを通じて、農村で生活する人も農村を訪ねる人も「最高のクオリティライフ」を享受できるものでなければならない。

3. グリーン・ツーリズム推進施策の方向

(1)美しい村づくりの推進

グリーン・ツーリズムの推進のためには、美しい村づくりに向けて快適な「居住空間」、「余暇空間」を形成することが重要である。

(2)受入体制の整備

我が国の農村、農家の現状を考えれば、都市住民を受入れ、交流を進める際に最も重要なホスピタリティの向上等ソフト面での整備が重要であるとともに、農場民宿等の宿泊施設の一定の水準の確保等、施設面での整備が不可欠である。

(3)都市・農村相互情報システムの構築

グリーン・ツーリズムが実行に移されるには、農村の情報が都市住民に的確に伝わるとともに、都市側のニーズが農村に的確に送られることが必要である。

(4)推進・支援体制の整備

グリーン・ツーリズムの普及のためには、広く国民にグリーン・ツーリズムについての啓発活動を行い、国民の理解と共感を呼び起こし、そのニーズの顕在化を図るとともに、農村側に対しても、従来、主に「生産空間」として位置づけられてきた農村を「居住空間」「余暇空間」として捉えていくような意識の醸成を図っていく必要がある。

本物の緑、グリーンを大切にしよう。

☆有機／バイオ／無農薬‥　　☆自然　　☆至然
☆森の防波堤・防潮堤
☆市民参加型‥‥自分の手でつくったもの「愛着」が成長する。







記念写真

（11）４月 30 日（土）　　過現未／「過現未による防災対策」まとめ



【講座内容】

序 過現未による防災対策のキーワード
（世代間倫理・フェーズフリー・森の防波堤・ファストアラート・洋上風力・展望室＆FM 局付風車・社会受容性・シルバーデモクラシー・防災協定・マグ水素《MgH_2》）

破 千葉県議会でのフェーズフリーへの取組み

急 ディスカッション／講座 before＆after
いすみモデル／洋上風力／森の防波堤／その他の具体化とは

＜中締め式＆記念撮影＞

６・２５（未来のための、シルバーデモクラシー）



【各項目における展望】

過去

現在

未来

【まとめと提案】

＜謝辞＞